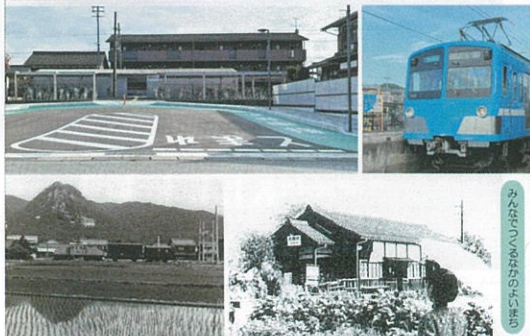


No.54

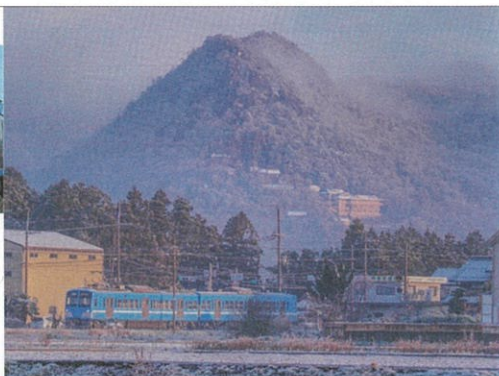
中野地区まちづくり協議会 広報紙

発行：中野地区まちづくり協議会 / 東近江市中野町781-5 中野コミュニティセンター内 Tel.22-0154 令和4年2月下旬発行

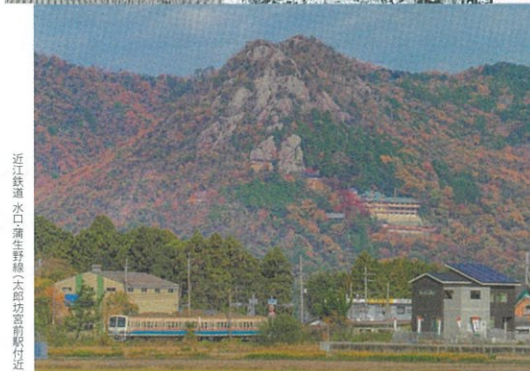
近江鉄道太郎坊宮前駅周辺整備事業完成記念 Nov.2021



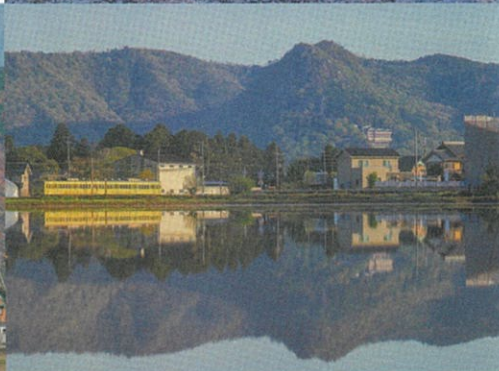
みんなてつてんかのびちまら



近江鉄道 水口蒲生野線(太郎坊宮前駅付近)



近江鉄道 水口蒲生野線(太郎坊宮前駅付近)



近江鉄道 水口蒲生野線(太郎坊宮前駅付近)

記念切符の台紙(4枚の絵はがきになります) 写真提供/中村義宣さん

近江鉄道「太郎坊宮前駅」

記念切符 200枚限定プレミアム発行



0123

0123

即時完売

みなさまには記念写真でご覧いただきます

太郎坊宮の名前を冠した近江鉄道「太郎坊宮前駅」の周辺整備事業工事が完了したことを受けて、中野地区で駅関連の記念事業ができないかと「なかのよいまち円卓会議」で提案があり、このたび太郎坊宮前駅記念切符の発行に取り組みました。

記念切符は、昔懐かしい「硬券」160円。200枚限定で近江鉄道に作成を依頼。記念切符の台紙写真は、中野地区在住の近江鉄道写真で著名な中村義宣さんにご提供いただき、絵はがきとしても利用できるよう工夫しました。

記念切符は、昨年12月11日に発売しましたが、京都新聞、滋賀報知新聞や中日新聞紙上で広報いただき、ネットニュースにも取り上げられたこともあって他府県からの問い合わせもあり、即時完売いたしました。これを機会に多くの皆さまが近江鉄道に興味や関心をもっていただき、地域の貴重な公共交通機関としてご利用につながり鉄道の存続の一助となればと願っています。ご協力をいただいた皆様に感謝しお礼を申し上げます。

中野地区まちづくり協議会 小椋

ますます深まる

聖徳太子伝説の謎

中野地区近代編、昭和25年の巻

その

1



飛鳥時代に十七条憲法を制定して国家の基礎を固めたことで有名な聖徳太子。その聖徳太子にまつわる伝承が日本一多いのは滋賀県で、なかでも東近江地域はひとときわ聖徳太子伝説が多いのだそうです。

東近江市では令和4年が聖徳太子薨去1400年になることから聖徳太子1400年悠久の近江魅力再発見委員会を発足させて観光振興に取り組まれています。中野地区では太郎坊宮が聖徳太子ゆかりの神社としてとりあげられています。



太郎坊宮お火焚大祭

さて、そんな聖徳太子ゆかりの中野地区ですが、もうひとつ聖徳太子伝説があったのです。

昭和25年8月15日に中野中学校と八日市中学校が統合して聖徳中学校が発足しました。はて？学校名が聖徳中学校になったわけは？現地の聖徳町に建設したから聖徳中学校の名前になったのではなく、聖徳町という町名は聖徳中学校が出来てからのちに命名されたのだそうです。中野中学校と八日市中学校を統合するにあたりどのような経過で『聖徳中学校』という校名が命名さ



聖徳中学校

れたのか？昭和25年当時は誰もが知っていたはずなのに令和4年現在では誰も知らない『命名の謎』になっています。

当時の資料は聖徳中学校にも残されておらず、なぜ『聖徳』の校名がついたのか校長先生が入念に調査してもまったく不明とのこと。なぜ誰も知らないのか？なぜ『しょうとく』でなくて『せいとく』なのか？謎は謎を呼び、都市伝説なみの謎です。聖徳太子のご威光が昭和25年8月にもあまねく輝いていたのでしょうか？

当時の聖徳中学校命名経過を知る方がおられましたらぜひ当広報編集局へご一報ください。続報として次号に掲載させていただきます。

2021年10月23日

中野まちあるき

中野かるた ゆかりの地巡り



昨年参加した、中野まちあるきの注目は引接寺でした。ご住職さんから聞いたお話です。

安土桃山時代に豊臣秀吉が実施した検地の記録検地帳と当時測量に使われた機器が引接寺に残されています。今回はその見学をさせていただきました。重厚な金属製の測量器には東西南北の表記の代わりに十二支になぞらえた方角が刻まれています。このように精密に作られた機器を各地に配置し、緻密な記録のもとに測量が行われていたことが驚きでした。

検地帳には石田三成の名前(当時は佐吉)が記名されており、検地に立ち会っていたことがわかります。参加者一同、歴史に名を残す有名人の名前を見つけて感嘆。また、引接寺は鎌倉時代から続く由緒ある天台宗寺で、創建当時は現在の五十年森に建てたという話もありました。

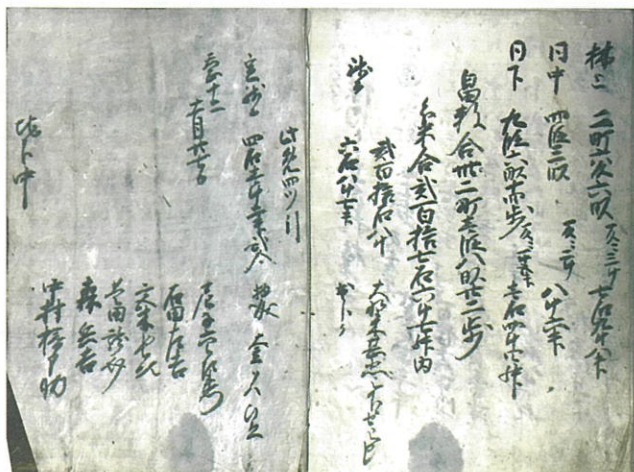
織田信長の焼討

を逃れるために改宗する寺が相次いだなかでこの寺は天台宗を現在まで受け継いでいることも貴重であると話していただきました。焼討後は現在の位置に再建されましたが、五十年森は薪を調達する森として大切に守られて、寺の暮らしを支えて来ました。

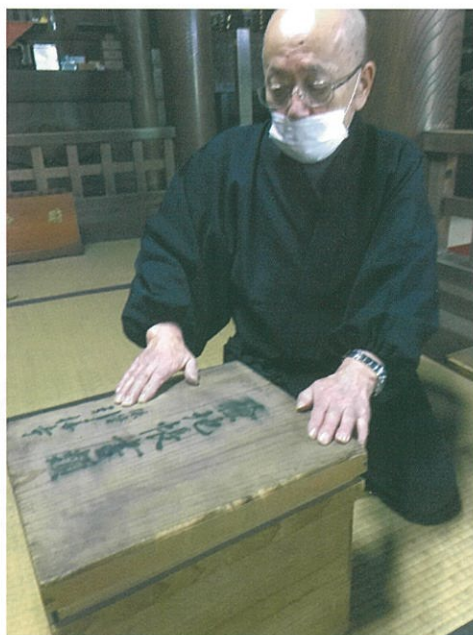
遠くの山まで芝刈りにいかずとも薪の調達ができることは暮らしに欠かせない存在であり、地域にとってかけがえのない恩恵を与える森であったことが伺えます。

五十年森どころか百年森と呼べんとあかん。それ以上かもしれない。人の役に立ってくれた森なんやと五十年森についてお話していただきました。

モリコーニ直美



天正時代の検地帳 左から5人目が石田三成(佐吉)



引接寺ご住職牧野即春さんと古文書箱



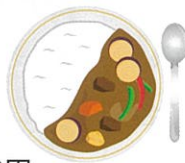
子ども食堂
なかがごはん

いつもお米やお野菜など
寄付していただき、
ありがとうございます。



なかがごはん会場風景

3/6日 中野ヴィレッジハウス
11:30~15:00
メニュー:カレーライス
持ち物:カレー皿、スプーン、お茶
参加費:子ども100円 大人300円



4/13水 中野コミュニティセンター
15:00~17:00予定
(要申し込み40名くらいまで)
●問い合わせ
小島聡子 090-1899-0859

顔見て しゃべって おすそわけ

もろて〜な市

3/6日 中野コミュニティセンター
駐車場 予定
10:00~11:30(雨天中止)

中野地区まちづくり協議会からのご案内

毎月7日は円卓会議を開催しています。

毎月7日は、中野コミュニティセンターで中野地区のまちづくりや課題について、誰もが自由に意見を出し合う円卓会議を開催しています。中野地区のことで意見や提案がある人はもちろん、どんな話がされているのかと興味をお持ちの方は是非ともご参加ください。

毎月7日、午後7時30分から開催しています。

【場所：中野コミュニティセンター】